



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年7月31日

上場会社名 ホリイフードサービス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3077 URL <http://www.horiiifood.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)飯田 益弘
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)大貫 春樹 (TEL)029(233)5825
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績 (2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,496	△7.2	△13	—	△11	—	△42	—
2019年3月期第1四半期	1,612	0.3	29	—	30	—	17	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△7.48	—
2019年3月期第1四半期	3.07	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	3,507	2,350	67.0
2019年3月期	3,653	2,433	66.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 2,350百万円 2019年3月期 2,433百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2020年3月期	—				
2020年3月期(予想)		0.00	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,006	△7.1	27	△63.8	30	△59.8	13	△63.0	2.38
通期	6,358	△4.5	280	△7.8	288	△6.8	170	△31.7	30.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	5,670,000株	2019年3月期	5,670,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	439株	2019年3月期	439株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	5,669,561株	2019年3月期1Q	5,669,561株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間は、前事業年度に引き続き業態変更及び販売促進の強化による既存店舗の業況改善、業績不振店舗の閉鎖による損失の切り離しを進めつつ、規模の拡大による全社業績の向上を企図し新規出店を再開するものとしております。

以上の方針により、当第1四半期累計期間においては次の新規出店及び業態変更、閉鎖を実施しました。

○新規出店

赤から佐野店

○業態変更

忍家浦和駅西口店 → うま囲浦和駅西口店 ※新業態

味斗いわき泉店 → 赤からいわき泉店

○閉鎖

いきなりステーキ水戸千波店

忍家柏西口店

以上により、当第1四半期会計期間末の店舗数は101店舗となり、前事業年度末から1店舗減少し、前年同四半期会計期間末と比べた場合は6店舗減少しました。

なお、当第1四半期累計期間において、次の閉鎖を決定しました。

○忍家業態4店舗

茨城県水戸市1店舗、埼玉県さいたま市大宮区1店舗・同越谷市1店舗、東京都小金井市1店舗

業績につきましては、業態変更及び広告宣伝の強化等により既存店舗の売上高は前事業年度と同等の実績を確保しました。しかしながら、前事業年度及び当四半期累計期間の閉鎖店舗にかかる減収(125,092千円、内いきなりステーキ水戸千波店47,762千円)により、売上高は1,496,813千円と前年同四半期に比べ115,385千円(7.2%)の減収となりました。

利益面につきましては、売上総利益が1,105,103千円と前年同四半期に比べ86,741円(7.3%)減少し、広告宣伝及び販売促進強化に要する費用、新規出店及び業態変更にかかる臨時費用の増加に対し、閉鎖店舗にかかる固定費の減少等により販売費及び一般管理費は43,783千円(3.8%)減少しましたが、営業利益は△13,950千円と前年同四半期比べ42,957千円減少しました。

経常利益につきましては、△11,636千円と前年同四半期に比べ41,822千円減少しました。

四半期純利益につきましては、店舗設備の売却に伴う「固定資産売却損」16,725千円、閉鎖確定店舗等にかかる「減損損失」13,038千円及び「店舗閉鎖損失引当金繰入額」13,301千円等の合計45,158千円の特別損失の計上により△42,405千円となり前年同四半期に比べ59,789千円減少しました。

当第1四半期累計期間における経営成績は次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間		増減対比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
売上高	1,612,199千円		1,496,813千円		△115,385千円	△7.2%
販売費及び一般管理費	1,162,837千円	72.1%	1,119,054千円	74.8%	△43,783千円	△3.8%
営業利益又は営業損失(△)	29,006千円	1.8%	△13,950千円	△0.9%	△42,957千円	—
経常利益又は経常損失(△)	30,185千円	1.9%	△11,636千円	△0.8%	△41,822千円	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17,384千円	1.1%	△42,405千円	△2.8%	△59,789千円	—

当第1四半期累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

	売上高		営業利益又は営業損失(△)	
	金額	前年同期増減対比	金額	前年同期増減対比
北関東エリア	617,066千円	△24,281千円 (△3.8%)	64,496千円	1,692千円 (2.7%)
首都圏エリア	641,476千円	△53,776千円 (△7.7%)	50,106千円	△16,508千円 (△24.8%)
東北エリア	238,270千円	△37,327千円 (△13.5%)	2,577千円	△20,162千円 (△88.7%)
その他	— 千円	— 千円 (—)	△131,131千円	△7,978千円 (—)

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、1,712,350千円となり前事業年度末に比べ99,510千円(5.5%)減少しました。

これは主に、決算月次の売上高の減少に伴う「現金及び預金」の減少83,206千円及び「売掛金」の減少17,221千円等によるものであります。

固定資産は、1,795,637千円となり前事業年度末に比べ46,305千円(2.5%)減少しました。

これは主に、「繰延税金資産」の増加18,533千円に対し、減価償却の進捗及び減損損失の計上に伴う「有形固定資産」の減少46,921千円、店舗閉鎖に伴う「敷金及び保証金」の減少16,538千円等によるものであります。

(負債の部)

流動負債は、735,535千円となり前事業年度末に比べ43,758千円(5.6%)減少しました。

これは主に、店舗閉鎖の決定に伴う「店舗閉鎖損失引当金」の増加9,095千円及び「資産除去債務」の振替による増加5,093千円、主に夏季賞与支給額の確定等による「その他」の増加21,149千円等に対し、決算月次の仕入高の減少に伴う「買掛金」の減少33,627千円、「未払法人税等」の減少24,921千円、賞与算定期間の差異による「賞与引当金」の減少10,560千円等によるものであります。

固定負債は、421,606千円となり前事業年度末に比べ19,412千円(4.4%)減少しました。

これは主に、閉鎖店舗にかかる原状回復義務の履行及び消滅に伴う「資産除去債務」の減少18,071千円等によるものであります。

(純資産の部)

純資産合計は、2,350,847千円となり前事業年度末に比べ82,644千円(3.4%)減少しました。

これは「四半期純損失」42,405千円及び「剰余金の配当」39,686千円、「その他有価証券評価差額金」の減少552千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては2019年5月15日に公表しました通期の業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,557,530	1,474,324
売掛金	80,987	63,766
原材料	43,980	42,746
前払費用	94,250	89,036
その他	35,111	42,478
流動資産合計	1,811,861	1,712,350
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	568,950	526,640
その他（純額）	60,937	56,325
有形固定資産合計	629,888	582,966
無形固定資産	9,368	8,749
投資その他の資産		
長期貸付金	116,913	113,192
繰延税金資産	382,894	401,428
敷金及び保証金	564,673	548,134
長期預金	12,350	14,360
その他	125,854	126,806
投資その他の資産合計	1,202,686	1,203,921
固定資産合計	1,841,942	1,795,637
資産合計	3,653,804	3,507,988

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	173,821	140,193
未払金	295,429	285,472
未払法人税等	36,472	11,550
賞与引当金	19,874	9,313
店舗閉鎖損失引当金	12,047	21,143
株主優待引当金	17,771	17,740
資産除去債務	16,832	21,925
その他	207,045	228,194
流動負債合計	779,294	735,535
固定負債		
資産除去債務	421,536	403,465
その他	19,481	18,141
固定負債合計	441,018	421,606
負債合計	1,220,312	1,157,141
純資産の部		
株主資本		
資本金	292,375	292,375
資本剰余金	282,375	282,375
利益剰余金	1,866,366	1,784,274
自己株式	△192	△192
株主資本合計	2,440,924	2,358,832
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,432	△7,984
評価・換算差額等合計	△7,432	△7,984
純資産合計	2,433,491	2,350,847
負債純資産合計	3,653,804	3,507,988

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	1,612,199	1,496,813
売上原価	420,354	391,709
売上総利益	1,191,844	1,105,103
販売費及び一般管理費	1,162,837	1,119,054
営業利益又は営業損失(△)	29,006	△13,950
営業外収益		
受取利息	489	429
受取配当金	1,239	1,366
その他	915	572
営業外収益合計	2,644	2,368
営業外費用		
支払利息	1,090	48
その他	374	5
営業外費用合計	1,465	54
経常利益又は経常損失(△)	30,185	△11,636
特別利益		
固定資産売却益	1,075	—
その他	53	—
特別利益合計	1,128	—
特別損失		
固定資産売却損	—	16,725
固定資産除却損	155	51
減損損失	—	13,038
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	13,301
その他	—	2,041
特別損失合計	155	45,158
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	31,158	△56,795
法人税、住民税及び事業税	13,774	△14,390
法人税等合計	13,774	△14,390
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17,384	△42,405

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はございません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

○税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。